

令和6年度湘南大庭地区郷土づくり推進会議
＜全体会議（第21回定例会）議事録＞

日 時：2025年（令和7年）2月4日（火）19：00～21：00

場 所：湘南大庭市民センター 2階 第1談話室

出席：11名、湘南大庭地域活性化協議会委員2名

欠席：2名（吉田委員、石塚委員）

（協力員）0名

（事務局）湘南大庭市民センター 大塚センター長、入澤主幹、杉浦

1 協議事項

（1）湘南ライフタウン活性化指針について

概要版と冊子について説明。

1月30日、市長に活性化指針の提言を行った。

高齢化率は、市全体（13地区）で約24%、湘南大庭地区では約33%であり、13地区の中で一番高い水準にある。

湘南大庭地区の住民のアンケート結果を基に、冊子を作成している中で、「みどりが豊か」等、まちの良さ（長所）の多さに驚いた。

湘南ライフタウンを住みやすい地域にすることが活性化指針の目標。

湘南大庭地区がめざすべき将来像として、共生、生彩、発信の3つが挙げられる。

共生は、色々な人々が暮らし、集い「助けあう」ことができるまち。

地域とつながるための事業の開催や交流できる場所の発掘と活用として、集客数の多い商業施設等と連携することを検討したらよいと考える。

生彩は、誰もがいくつになっても「楽しみを見つけられる」まち。

発信は、湘南ライフタウンらしさを内と外へ「発信し続けられる」まち。

地域内外へ湘南大庭地区の魅力を情報として発信することが、地域の活性化のために必要なことと考える。

冊子にアンケートの集計結果を掲載しているので、郷土づくり推進会議の今後の活動の参考にしてほしい。

「湘南大庭」という名称が付いているが、湘南らしくないと言われることがある。

湘南は海をイメージしているので、海に面していないため「湘南」という名称に合わない。活性化協議会の中で、湘南を超えるという意味で、郷土づくり推進会議の名称等に「OVER（オーバー）湘南」を付けることを提案したい。

イオンの空き店舗を上手く活用することで、地域の新たなコミュニティを作ることができる。

コミュニティを作ることで、地域にとって行政と民間ともつながりやすくなる。

資料編72ページには、活性化協議会の第1回から第23回までの検討経過を載せている。

未来へつなぐ、住み続けたいまちを目指し、13地区のうち湘南大庭地区が初めて冊子を作成した。

来年度以降、この指針を郷土づくり推進会議等で実施する地域活動で参考にしてもらうことを望む。

(2) アンケートについて

郷土づくり推進会議委員を対象としたアンケートについて、回答していただいた結果内容を議長が確認し、今後の郷土づくり推進会議の活動に活かしたい。

郷土づくり推進会議委員10名からのアンケートの実施内容について、事務局で確認。

まだアンケートに回答していない2名の委員へ、早めの回答を望む。

(3) 全体集会について

3月20日に実施する予定。

二部構成で実施したい。

前半では、郷土づくり推進会議が、令和6年度に取り組んできたことを説明する。

後半では、活性化協議会から、活性化指針の策定までの取り組みと今後の方針を説明する。

全体集会のチラシへの掲載内容については、委員間で連絡をとりながら検討していく。

チラシを印刷するための日程は、今後調整。

2 前回の確認

令和6年度第20回定例会議事録(案)〈資料1〉

3 各部会からの報告事項

(1) 大庭城跡部会から〈資料2〉

第2回大庭城跡シンポジウムにおいて、当日、参加者に対し部会から配付する資料のうち、山下委員が作成した資料は、大庭城跡をどのくらい知っているかを問う質問と回答が記載された内容。

質問から入り、次に答を確認しながら、大庭城跡について学んでもらう。

シンポジウムでの配付資料に誤りがないか、郷土歴史課の宇都学芸員に確認してもらいたい。→2月7日、事務局から宇都学芸員に確認を依頼。2月10日、宇都学芸員から回答あり、中村部会長及び山下委員に送付。

中村委員が作成した資料等を含め、当日の配付資料は最初に参加者に配付し、シンポジウムに臨んでもらう。

進行については、川地先生と調整済み。

川地先生の講演の後は、ドローンによる大庭城跡の映像を鑑賞し、トークセッションに入る流れ。

空堀等の説明がないと、ただ木々の間をドローンが飛んでいるだけだと思われるってしまう懸念あり。映像に字幕を入れ、説明を加えたらわかりやすくなるのではないか。

議長が集約して、ドローン業者に字幕入れを依頼する。

ファイルを事務局までいただければ、地図をモニターに映すことは可能。

トークセッションの後半は、s l i d oを使いながら質問事項を展開する予定。

昨日、シンポジウムの申込者数が定員80名に達し、本日、事務局が受け取った友の会会員からの参加申込を含め、計81名。

大庭城最中等の販売については今後検討。

(2) 子ども居場所づくり部会から〈資料3〉

1月29日、部会を実施。

来年度も夏休みに川遊びができれば子どもたちは喜ぶのではないかと、来年度の引地川親水公園での川遊びイベントに向け、今年度実施した「川ガキ」イベントの際に、講師を依頼した鈴木氏を含め、打ち合わせを行った。

(仮)大庭城跡わくわくフェスタを案として事務局から提案。1日で複数の事業が実施できたら面白いのではないか。

予算に限度があるため、プールの購入にあたっては、他課の物品を借用することを検討するののも一つの方法。

資料には、予算が6~7万円程度と記載させているが、令和7年度予算要求している金額は2万円。

6月~7月の実施計画については、第16回親水公園まつりを昨年6月8日に実施したとの記事あり。

ふじきゅんふあふあランド(エアー遊具)等を使った、子ども向けイベントや地元農家の新鮮野菜の即売、キッチンカーの出店等を実施、大盛況だったとのことであるので、開催日程の調整が必要。

(3) セカンドライフ部会から

来年度の事業に活かすため、アンケート集計結果を今後検討の予定。

(4) かるた部会から

「湘南大庭ふるさとかるた」の制作につき、初校、第2校を実施後、印刷業者に校了の旨を連絡し、納品待ちの状態。

箱のデザインは、活性化指針概要版の絵を使用し、箱側面には羽入田委員が考案したロゴを載せることになった。

通常サイズ及びジャンボサイズとも、2月28日に納品予定。

本日の子どもサポート会議の場で、小中学校の校長先生に事務局から報告を行った。

藤沢西高等学校美術部への報償費の金額は、1万円にすることで決定し、同校美術部と調整後、口座振込の予定。

3月31日10時からのレディオ湘南（ラジオ局）の放送で「湘南大庭ふるさとかるた」を取り上げていただくため、3月中旬の収録には、かるた部会の委員がインタビュー等、対応の予定。

(5) デジタル推進部会から

来年度のスマホ講座の実施に関し、部会長宛にドコモの担当者からメールが来る。

日程については、今後、ドコモの担当者とも調整しながら決定したい。

来年度のスマホ講座は6月実施予定ではあるが、別で講座等の提案や要望があれば単発での実施も検討したい。

(6) ゴルフ部会から

3月4日に実施予定の第5回ゴルフコンペにつき、11名の申込あり。

16名募集のため、今後、人数調整を行う予定。

申込者一覧表を後日、事務局から議長に送付予定。→2月5日、議長に窓口で手渡し。

4 その他

(1) 地区交流会

2月7日の交流会に向け、既に資料は担当課まで送付済み。

中村委員、小山委員、センター長の3名が参加予定であり、会場までの往路につき、集合場所や時間等は後日調整。

(2) まちかど健康相談

3月11日の今年度2回目となる「まちかど健康相談」の実施に向け、2月17日午後2時頃、波多野副議長と前川委員に来所いただき、チラシを印刷する予定。

湘南ライフタウンショッピングセンターへのチラシの配架について、後日、議長が同センターと調整予定。

(3) 市長との意見交換

来年度4月の「市長との意見交換」につき、銀杏の木が伐採された経緯を知りたい等、何か確認したいことや、意見交換したいことがあれば、次の定例会までに挙げてほしい。

(4) 委員の辞任について

羽入田委員から、4月の転勤により3月末で辞任すると報告あり。

以上

【次回定例会】令和7年2月18日（火）午後7時～

湘南大庭市民センター2階 第1談話室